

平成 25 年度事業報告

■公益目的事業 1（「創造する伝統賞」の主催）

（定款第 4 条第 1 項第 2 項）

◆助成顕彰事業（第 20 回）

平成 26 年 2 月 13 日の理事会の審議を経て 2 名に授与した。

「第 5 回創造する伝統賞」 賞金各 100 万円

- 青木 彰時（48 歳） 尺八演奏家
- 三瀬夏之介（40 歳） 日本画家

（1）対象

日本の伝統文化及び現代藝術の広い分野を対象とする。国籍不問。

（2）募集応募概況

発 送 先：美術館、博物館、新聞社、大学、海外日本文化研究機関、画廊
出版社（専門誌）、評論家、本財団「文化藝術の会」会員、本財団関係者、
これまでの受賞関係者、資料請求者

発 送 数：855 通

告 知：当財団 WEB サイト、邦楽ジャーナル、美術の窓

応募総数：一般公募 24 名、推薦応募 3 名

（3）選考委員会

開催日時：平成 25 年 12 月 28 日（土） 14：00～16：00

開催場所：公益財団法人日本文化藝術財団 会議室

出 席 者：建畠哲委員長、葛西聖司委員、金子賢治委員、丹下憲孝委員、寺脇研委員、
茂手木潔子委員

事 務 局：伊達晟聴事務局長、事務局員

選考方法：事前に選考委員に全応募者の資料を送付し、閲覧を依頼した。

選考委員会当日は、応募者から提出された DVD、CD、ポートフォリオ、論
文集、カタログ、パンフレット、著書、掲載書籍等を視聴及び回覧した。

各委員より意見を出し合い、選出候補者を絞り、さらに審議し各委員の同意の
上で、選出者を決定した。

（4）理事会の決議

平成 26 年 2 月 13 日の理事会で審議を経て、選考委員会より選出された 2 名に「創造する
伝統賞」授与を決議した。

（5）授賞式典の開催

開催日時：平成 26 年 4 月 7 日（月） 15：30～16：00

開催場所：明治記念館（曙の間／末広の間）

出 席 者：〔受 賞 者〕 青木彰時氏、三瀬夏之介氏、
〔選考委員〕 金子賢治委員、葛西聖司委員、茂手木潔子委員、寺脇研委員
〔役 員〕 千玄室会長、徳山豊代表理事、北村誠代表理事、
小椋秀樹業務執行理事、野呂英美子業務執行理事、

大野木啓人理事、竹内昌義理事、津田恵子理事、脇田直枝理事、
安孫子正評議員、渋谷佳樹監事、伊達晟聴事務局長

[来 賓] 文化庁文化課長舟橋徹様

内 容：会長挨拶、賞状・賞金目録の授与、選考委員からの選評、文化庁船橋様
祝辞、受賞者紹介、記念撮影、受賞者との懇談

(6) 賞金の授与

平成 26 年 4 月 本人名義の口座に振込にて授与

(7) 受賞者の紹介

本財団ホームページ

受賞者紹介の小冊子作成し配付 (H26.7 月下旬刷上がり予定)

■公益目的事業 2 (芸術系大学等に在学する学生及びその他の学生に対する奨学金の給付)
(定款 第 4 条 第 3 項)

◆育英事業

「日本文化藝術奨学金」

平成 25 年度育英事業として「日本文化藝術奨学金」の募集を行い、平成 25 年 6 月 14 日に
選考委員会を開催。平成 25 年 6 月 24 日の理事会の審議を経て、6 名に奨学金を給付した。

奨学金給付大学生 2 名 奨学金 各 30 万円

- 長田 早織 愛知県立芸術大学美術学部美術学科 4 年 (24 歳)
- 熊倉 涼子 多摩美術大学美術学部絵画学科 4 年 (21 歳)

奨学金給付大学院生 4 名 奨学金 各 50 万円

- 増田 奈緒 東京造形大学大学院造形専攻美術研究領域 修士課程 1 年 (22 歳)
- 木下 幸 富山大学大学院芸術文化研究科 修士課程 1 年 (23 歳)
- 山本 恵海 多摩美術大学大学院美術研究科彫刻専攻 修士課程 1 年 (23 歳)
- 青木 香保里 多摩美術大学大学院美術研究科絵画専攻 日本画領域修士課程 1 年 (25 歳)

(1) 対象者

国内の芸術系大学の 3 回生・4 回生または大学院に在学し、絵画・彫刻・工芸・建築 (造
園を含む)・デザイン (グラフィックデザイン及び工業デザインのみ) の実技部門を専門
としている学生

(2) 募集応募概況

募 集：大 学 生 2 名 奨学金 1 年間 30 万円の給付
大学院生 4 名 奨学金 1 年間 50 万円の給付

募集期間：平成 25 年 5 月 7 日から平成 25 年 5 月 17 日 (当日消印有効)

申請書類： ①奨学生願書 ②奨学生願書 2 ③推薦書
④成績証明書 ⑤在学証明書

応募状況： 大 学 生 12 名
大学院生 46 名 (修士 42 名、博士 4 名)
合 計 58 名 (-13 名)

- ・本年度の応募状況は 17 校より 58 名。前年度に比べ 4 校 13 名減。
- ・新規応募の大学は 1 校。(明星大学)

- ・大学院生の応募者が昨年同様、大学生の応募者の約3倍となっている。なお、本年度は大学院奨学金給付候補者を2名から4名に増やした。

(3) 選考委員会

開催日時：平成25年6月14日（金） 13:00～16:00

開催場所：公益財団法人日本文化芸術財団 会議室

出席者：井上隆邦委員長、川村悦子委員、中山ダイスケ委員、野呂芙美子委員、
脇田直枝委員

事務局：伊達事務局長、事務局員

○選考資料

- ・日本文化芸術奨学金 学校別応募人数
- ・日本文化芸術奨学金 学校別応募人数の変化
- ・日本文化芸術奨学金 学校別過去の受給者数
- ・日本文化芸術奨学金 受給者一覧
- ・併願者一覧
- ・応募者資料 ※事前送付

○選考方法

【大学生】事前審査により候補者を数名ずつ選出し、本審査にて各候補者の推薦理由をそれぞれ挙げ、満場一致でまず1名を選出した。再び審査を行い、最終投票により過半数を超えた1名を候補者として選出した。

【大学院生】事前審査により候補者を数名ずつ選出し、本審査にて各候補者の推薦理由をそれぞれ挙げ、満場一致でまず1名を選出した。再び審査を行い、最終投票により過半数を超えた3名を候補者として選出した。

(4) 理事会の決議

平成25年6月24日の理事会で審議を経て、選考委員会より選出された6名に奨学金授与を決議した。

(5) 奨学金給付

平成25年 7月 前期分として給付金の半額を本人名義口座に振込にて給付

平成25年 10月 後期分として給付金の残金を本人名義口座に振込にて給付

「加藤定奨学金」

平成25年度育英事業として「加藤定奨学金」の募集を行い、平成25年6月14日に選考委員会を開催。平成25年6月24日の理事会の審議を経て、5名に奨学金30万円を給付した。

京都・奨学金給付大学生 3名

全国・奨学金給付大学生 2名

(1) 対象者

国内の文化・芸術系大学の3回生・4回生または修士課程に就学する学生で、学業優秀、品行方正で、就学に耐える健康体でありながら経済的事由によって就学に支障をきたしている学生

(2) 募集概況

募 集： 大学生・大学院生 5名 奨学金 1年間 30万円の給付
募集期間： 平成 25年 5月 7日から平成 25年 5月 17日（当日消印有効）
申請書類： ①奨学生願書 ②推薦書 ③成績証明書 ④所得証明書
応募状況：
京 都 9名
全 国 19名
合 計 28名

- ・ 本奨学金は「財団法人加藤定育英会」より、創設者の加藤定氏の意思を引き継ぎ、昨年度より募集を行っており、今年 2年目となる。
- ・ 今年度の応募状況は 18校より 28名。昨年度に比べ 3校 5名減。ただし、新規応募校が 4校あった。
- ・ 「日本文化藝術奨学金」との併願は 5名であった。

(3) 選考委員会

開催日時： 平成 25年 6月 14日（金） 13：00～16：00

開催場所： 公益財団法人日本文化藝術財団 会議室

出席者： 井上隆邦委員長、川村悦子委員、中山ダイスケ委員、
野呂芙美子委員、脇田直枝委員

事務局： 伊達事務局長、事務局員

○選考資料

- ・ 加藤定奨学金 学校別応募人数
- ・ 加藤定奨学金 受給者一覧
- ・ 併願者一覧
- ・ 応募者資料 ※事前送付

○選考方法

提出された所得証明書や応募書類より[認定所得額]（日本学生支援機構奨学金の控除額の算出方法に準じ計算した額）を算出し、経済状態を確認した上で、成績・学習意欲を審査し京都 3名、全国 2名の候補者を、満場一致で選出した。

(4) 理事会の決議

平成 25年 6月 24日の理事会で審議を経て、選考委員会より選出された 5名に奨学金授与を決議した。

(5) 奨学金給付

平成 25年 7月 前期分として給付金の半額を本人名義口座に振込にて給付
平成 25年 10月 後期分として給付金の残金を本人名義口座に振込にて給付

■公益目的事業3（自主企画公演、展示・体験活動・セミナー・映画上映・演奏会等の文化祭の開催、ホームページでの情報発信、及び実施事業の記録）

（定款第4条第4項第5項第6項）

◆文化芸術普及活動事業

「創造する伝統 『杜の中の文化祭』 ～親子で“日本の匠の技”を体験～」

開催日：平成25年5月4日（土・祝） 10：00～17：00

会場：京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 外苑キャンパス

主催：公益財団法人日本文化芸術財団

後援：京都造形芸術大学、東北芸術工科大学

協力：小川流煎茶、東京伝統木版画工芸協同組合、NPO法人日本剪画協会

来場者：約150名

入場料：無料（ただし風鈴絵付けとあめ細工は実費徴収）

内容：ワークショップ（聞香・剪画）、呈茶、江戸糸操り人形公演、風鈴絵付け、あめ細工、江戸木版画 他

「茶論 四季おりおり」

期間：平成25年4月6日より平成26年1月12日

会場：公益財団法人日本文化芸術財団「透思庵」

金王八幡宮（4/6のみ）

明治神宮「隔雲亭」（12/15のみ）

参加者：各回8名（4/6は21名、12/15は20名）

参加費：一般／1,000円

文化藝術の会会員／無料

内容：4/6「琵琶に聴き、香に聞く春の心」
7/27,8/11「竹取物語—かぐや姫の心を香りに聞く」
8/24「伊勢物語—業平の心を香りに聞く」
9/14「源氏物語—夕顔・光源氏の心を香りに聞く」
10/6「平家物語—平家人の心を香りに聞く」
10/26「香木の基礎知識と聞香作法」
11/23「天下布武—信長の心を香りに聞く」
12/15「奥の細道—芭蕉の心を香りに聞く」
1/12「好色一代男—世之介の心を香りに聞く」

「創造する伝統 杜の芸能 『石見神楽 DEDICATE』」

開催日：平成26年2月23日（日） 13：00開演

会場：明治神宮「参集殿」

主催：公益財団法人日本文化芸術財団

後援：京都造形芸術大学、東北芸術工科大学

協力：明治神宮、島根県

協賛：株式会社ア・ファクトリー

来場者：約270名

参加費：一般／1,000円

文化藝術の会会員・高校生以下／無料

内容：「神迎え」「塵輪」「八岐大蛇」

出演：石見神楽温泉津舞子連中

「こども芸術の家プロジェクト」支援

主 催：東北芸術工科大学＋京都造形芸術大学

協 力：日本文化藝術財団

事務局：東北復興支援機構（TRS0）

※東北芸術工科大学「やまがた藝術学舎」内に、東日本大震災後において芸術とデザインの力によって被災地への復興支援を継続的に行うことを目的に2011年5月に設置され、東北芸術工科大学および山形大学の学生・卒業生が中心となり活動を行っている。

活動内容：被災した子供たちとその家族を対象とするアートキャンプ、イベントの開催
「キッズアートキャンプ山形」
「ふくしましま」

「ブログ 四季おりおり ～日本歌謡物語～」

期 間：平成25年9月1日より平成26年3月15日

更 新：毎月2回（1日、15日） 全14回更新

テーマ：日本の歌謡史の中からさまざまな歌を紹介。

日本の歴史とともに歌を楽しみ、日本の物語を語れるようにする。

文 章：聞香箒門会宗匠 伊達晟聴

U R L：<http://blog.canpan.info/shikioriori>

◆ その他

- ホームページリニューアル
- ホームページ等WEBでの告知、情報公開
- 賛助会員システムの再建（WEB管理システム導入）、会報発行（5回）